

大会における「撮影（写真・動画等）制限」に関するお願い

一般財団法人 札幌陸上競技協会

近年、陸上競技大会において、本来の目的から逸脱した写真撮影や競技者に対する盗撮行為が度々発生しております。また、赤外線カメラなどで競技者を撮影した画像をインターネット等で販売するなどの悪質な事案も報告されています。

こうしたことから本協会では、競技者が安心して競技に集中できる環境づくりと、競技者の人権保護の観点から、競技場エリアでの巡回・警備を強化するとともに、撮影に関して下記のような制限を設けました。つきましては、保護者の皆様はじめ、関係者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

記

1 撮影できる人

競技会において撮影が可能な人は次の通りとします。なお、競技会中に下記に該当するか確認する場合がありますのでご協力ください。

- (1) 大会運営本部より許可された報道関係者（要申請）・・・ビブス、社章、腕章等着用
- (2) 大会運営本部より許可された調査研究に関わる者（要申請）・・・ビブス、ID 等着用
- (3) 大会事務局担当者・・・審判証等着用
- (4) 大会出場の学校、実業団、チームの関係者(所属を明示)・・・所属のジャージ等着用
- (5) 大会出場選手の保護者・家族等・・・リボン、ID 等着用

2 撮影方法等

- (1) 上記(1)、(2)、(3)に該当する人が撮影する場合の詳細は、大会運営本部にて確認してください。
- (2) 上記(4)、(5)に該当する人が撮影する場合は、観客席（スタンド）からすることとし、撮影禁止区域が設けられている場合はそれに従ってください。

撮影をする際には、次の撮影制限（撮影方向等）を遵守願います。

ア トラック種目のスタート時及び準備動作中・・・前方、後方からの撮影は不可

イ 走高跳・・・正面（クリアランス動作）からの撮影は不可

ウ 砲丸投・・・競技者正面からの撮影は不可

エ 棒高跳、走幅跳、三段跳・・・マット及び砂場後方からの撮影は不可

- (3) フラッシュ撮影や赤外線撮影装置を利用した撮影、及びドローンによる撮影は禁止します。
- (4) スタート時は静寂を保つためシャッター音が鳴らぬようご注意ください。
- (5) 三脚や自撮り棒を使用するの撮影は、他の観客に迷惑になる場合があるのでご遠慮ください。

3 注意事項

- (1) 競技と関係の無い目的での撮影、身体の一部をアップしての撮影、透過撮影、その他の迷惑行為はおやめください。
- (2) 競技場内で撮影した全ての画像・動画は、大会運営本部にて確認させていただく場合があります。
- (3) 撮影した画像・動画の販売及び営利目的の利用は禁止します。
- (4) 競技者及び競技者の保護者等の承諾を得ずに撮影したり、撮影した画像・動画を Web 上にアップロードしたりすることは控えてください。「肖像権の侵害」となる場合があります。